

第 36 回基準諮問会議

2019年7月23日に財務会計基準機構（FASF）において第36回基準諮問会議（議長 湯浅一生 富士通（株）執行役員常務）が開催され、審議が行われました。詳細については、財務会計基準機構ホームページ（https://www.asb.or.jp/jp/project/standards_advisory.html）において「議事概要」を公開していますのでご覧ください。

（審議事項）

1. テーマの提言について

(1) 前回までの基準諮問会議における提案について

基準諮問会議事務局より、前回までの基準諮問会議において市場関係者より提案されたもので、現在検討中のテーマはない旨の説明がなされた。

(2) 新規テーマ提案について

今回、新規テーマ提案は行われなかった。

(3) その他

日本公認会計士協会より、第35回基準諮問会議において、今後、テーマ提案を行う可能性があるものとして法務省より説明された「株式報酬に関する会社法制の見直し」に関連して、日本公認会計士協会より公表された「会計制度委員会研究報告第15号「インセンティブ報酬の会計処理に関する研究報告」」についての説明が行われた。

基準諮問会議の委員からは、法務省から正式にテーマ提案があった場合、検討を進めていただきたいという意見が聞かれた。

これを受け、議長より、今後、法務省より「株式報酬に関する会社法制の見直し」のテーマ提案を受けた場合は、基準諮問会議として検討する旨の発言がなされた。

2. 中期運営方針について

企業会計基準委員会（ASBJ）の小賀坂委員長及び川西副委員長より、中期運営方針の審議を開始した旨、及びその案について説明が行われた。

基準諮問会議委員より、「中期運営方針」（案）における「高品質」等に対する意見が出された。

3. ASBJの最近の活動状況について

ASBJ小賀坂委員長及び川西副委員長から、のれんに関する国際的な検討の状況及び日本基準を国際的に整合させる取組みを中心に、ASBJの最近の活動状況についての報告が行われた。

基準諮問会議委員より、金融商品の会計基準、リース会計及び金利指標改革に関する会計上の問題に対する意見が出された。